

**製品名: NPY2-R ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14860**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	43kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NPY2R
別名	NPY2R; Neuropeptide Y receptor type 2; NPY2-R; NPY-Y2 receptor; Y2 receptor
遺伝子 ID	4887.0
SwissProt ID	P49146
免疫原	抗血清はヒト NPY2R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

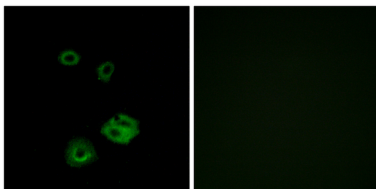
機能: 神経ペプチド Y およびペプチド YY の受容体。隣ポリペプチドに対するこの受容体の親和性の順位は、PYY > NPY > PYY (3-36) > NPY (2-36) > [Ile-31, Gln-34] PP > [Leu-31, Pro-34] NPY > PP, [Pro-34] PYY および NPY 遊離酸である。類似性: G タンパク質

共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 扁桃体、脳梁、海馬、視床下核に高濃度に存在する。また、尾状核、視床下部、黒質にも検出される。機能: 神経ペプチド Y およびペプチド YY の受容体。この受容体の膜ポリペプチドに対する親和性の順位は、PYY > NPY > PYY (3-36) > NPY (2-36) > [Ile-31, Gln-34] PP > [Leu-31, Pro-34] NPY > PP、[Pro-34] PYY および NPY 遊離酸の順である。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 扁桃体、脳梁、海馬、視床下核に高濃度で存在する。また、尾状核、視床下部、黒質にも検出される。、

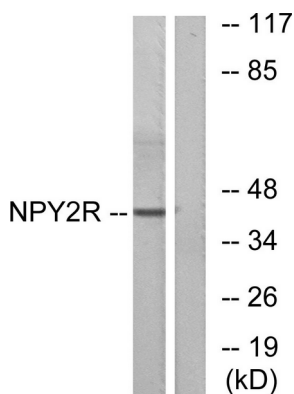
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

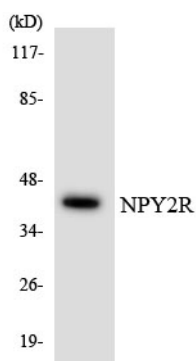
## 画像データ



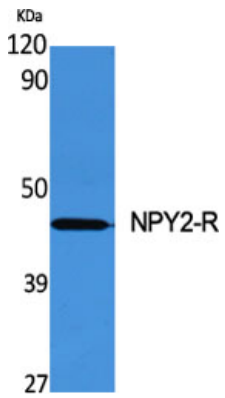
NPY2R 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



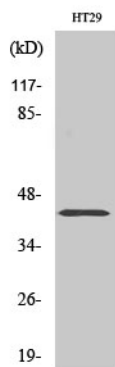
NPY2R 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NPY2R 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 500 に希釈した NPY2-R ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 500 に希釈した NPY2-R ポリクローナル抗体を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット解析